

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【公開番号】特開2010-70701(P2010-70701A)
 【公開日】平成22年4月2日(2010.4.2)
 【年通号数】公開・登録公報2010-013
 【出願番号】特願2008-242033(P2008-242033)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 77/06 (2006.01)
 C 0 8 L 23/08 (2006.01)
 C 0 8 L 23/26 (2006.01)
 C 0 8 G 69/26 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 77/06
 C 0 8 L 23/08
 C 0 8 L 23/26
 C 0 8 G 69/26

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月23日(2011.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 1, 5 ジアミノペンタンと炭素数6~12のジカルボン酸を主要成分として含有する単量体から構成されるポリアミド樹脂100重量部に対して(b)変性ポリオレフィン樹脂5~50重量部、(c)未変性ポリオレフィン樹脂0~50重量部を配合してなるポリアミド樹脂組成物であって、(b)変性ポリオレフィン樹脂と(c)未変性ポリオレフィン樹脂が30~600nmの範囲の分散粒径で分散していることを特徴とするポリアミド樹脂組成物。

【請求項2】

前記(a)ポリアミド樹脂がポリペンタメチレンアジパミド樹脂又はポリペンタメチレンセバカミド樹脂であることを特徴とする請求項1記載のポリアミド樹脂組成物。

【請求項3】

前記(a)ポリアミド樹脂の末端アミノ基濃度が $2.0 \times 10^{-5} \sim 15.0 \times 10^{-5}$ mol/gであることを特徴とする請求項1または2記載のポリアミド樹脂組成物。

【請求項4】

前記(b)変性ポリオレフィン樹脂が、エチレン・ -オレフィン系重合体100重量部に対して不飽和カルボン酸又はその誘導体0.1~3重量部で変性された変性ポリオレフィン樹脂であることを特徴とする請求項1~3のいずれか記載のポリアミド樹脂組成物。

【請求項5】

前記(c)未変性ポリオレフィン樹脂がエチレンと炭素数3~20の -オレフィンとを共重合して得られるエチレン・ -オレフィン系共重合体であることを特徴とする請求項1~4のいずれか記載のポリアミド樹脂組成物。

【請求項6】

請求項1~5のいずれか記載のポリアミド樹脂組成物からなる成形品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

すなわち、本発明は、

(1) (a) 1, 5 ジアミノペンタンと炭素数6~12のジカルボン酸を主要成分として含有する単量体から構成されるポリアミド樹脂100重量部に対して(b)変性ポリオレフィン樹脂5~50重量部、(c)未変性ポリオレフィン樹脂0~50重量部を配合してなるポリアミド樹脂組成物であって、(b)変性ポリオレフィン樹脂と(c)未変性ポリオレフィン樹脂が30~600nmの範囲の分散粒径で分散していることを特徴とするポリアミド樹脂組成物、

(2) 前記(a)ポリアミド樹脂がポリペンタメチレンアジパミド樹脂又はポリペンタメチレンセバカミド樹脂であることを特徴とする(1)記載のポリアミド樹脂組成物、

(3) 前記(a)ポリアミド樹脂の末端アミノ基濃度が $2.0 \times 10^{-5} \sim 15.0 \times 10^{-5}$ mol/gであることを特徴とする(1)または(2)記載のポリアミド樹脂組成物、

(4) 前記(b)変性ポリオレフィン樹脂が、エチレン・ α -オレフィン系重合体100重量部に対して不飽和カルボン酸又はその誘導体0.1~3重量部で変性された変性ポリオレフィン樹脂であることを特徴とする(1)~(3)のいずれか記載のポリアミド樹脂組成物、

(5) 前記(c)未変性ポリオレフィン樹脂がエチレンと炭素数3~20の α -オレフィンとを共重合して得られるエチレン・ α -オレフィン系共重合体であることを特徴とする(1)~(4)のいずれか記載のポリアミド樹脂組成物、

(1)~(4)のいずれか記載のポリアミド樹脂組成物、

(6) (1)~(5)のいずれか記載のポリアミド樹脂組成物からなる成形品、を提供するものである。